

「本校でどのような生徒を育成するか」プロジェクト
令和8年度 各教科における取り組み（教科別）



○自己を向上させる力

意志力	主体的・積極的に物事にあたり、自分の考えをもって最後までやり抜く力
徹底力	健康な心身で自分を律しつつ、当たり前なことを当たり前に行うことができる力
成長力	自分の現状を把握し調整しながら、確かな学力を培い、将来を展望する力

○他と協力し やり遂げる力

観察力	周囲の人・環境に関心を持ち、自分以外のことを知ろうとする力
共感力	多様な考えを受け止め、他者との関係性を築きつつ、物事を俯瞰的に捉える力
協働力	自分と他者を尊重し、共に物事を成し遂げる力

○物事を探究し 挑戦する力

洞察力	社会に対する関心を持ち、その状況を多面的に分析、考察できる力
活用力	情報等を選択・比較しながら、集団や社会のために活用していく力
創造力	既存の知識・経験を組み合わせ、新しいアイデアや解決策を生み出す力

①国語科

成長力	予習・復習を重視しつつ、生徒の学力に合わせた教材の活用と展開をする。
共感力	班別活動における資料作成と相互発表および相互評価を展開する。
洞察力	評論文や意見文の読解、および意見文の作成活動を展開する。

②地歴公民科

成長力	自主的な課題を設定し、取り組む。
協働力	共通のテーマ・課題に対し、多面的に考察し、合意形成を図る。
洞察力	なぜその歴史的事象・社会的事象が生じたかを考えさせる発問を行い、発表する。時事ニュースを授業の中で適宜動画で紹介する。

③数学科

成長力	話を聞き、自分で考え、表現するなどの活動から「わかる」「できる」を繰り返し経験させることで、自分の成長を感じる。
共感力	グループワークや別解について考える学習活動を通して、自身と考えの異なる解答やアプローチを理解する。
創造力	学習した内容を組み合わせ、発展的な内容を含む問題に取り組むことで、新しい発見や学びの機会を与える。

④理科

成長力	①現象との出会い ②課題設定 ③仮説立案 ④観察・実験 ⑤結果の整理・分析 ⑥考察・表現 ⑦振り返りのサイクルを意識して授業展開する。
観察力	「何を見るか」を生徒が考える、比較・変化・違和感に注目させる、言語化・共有・再観察を行うに注意させながら授業展開する。
創造力	「課題を発見し、多面的・多角的に考察し、新たな解決方法を構想する」ことを意識した授業になるように工夫する。

⑤保健体育

成長力	年間を通して毎時間、時間厳守・元気な挨拶・健康や安全に配慮した行動を徹底して身につける。
共感力	他者との協力を活動条件としたチーム課題達成型ゲームを行う。ペア・グループ練習を行い、ポイントを理解させたうえで、良い点と改善点を伝える。
洞察力	健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを日常生活に活用する力を育てる。

⑥芸術科（音楽・美術・書道）

意志力	制作や表現をやり抜く過程を重視し、粘り強く取り組む姿勢を育てる。
共感力	作品や演奏を通して感じた思いを共有し、他者の表現を尊重する授業を展開する。
創造力	試行錯誤を通して表現を工夫し、自分なりの発想を形にする授業を展開する。

⑦英語科

意志力	語彙をはじめとする基礎知識を継続して定着する。
観察力	英作文の共有や教科書の内容に即したプレゼンテーション活動を通して、表現や考え方の多様性を知る。
活用力	教科書の内容や時事問題に関連した意見を英語で述べたり英作文したりする活動を通して、発信力を鍛える。

⑧家庭科

徹底力	「自立」と「健康な心身」を目指す姿勢を身につける。
観察力	他者との違いを生徒が考えるきっかけになるような問いかけをする。
洞察力	社会の現状について、考えやすい教材を授業で取り上げる。

⑨情報科

成長力	Excel ログファイルを全生徒に配付し、スコアと正確率を継続記録・グラフ化する。評価軸に「自己ベスト更新率」を導入。
共感力	SNS やチャット等の事例を用い、発信者・受信者・第三者という異なる立場から物事を「俯瞰的に捉える」ワークを実施。
活用力	社会課題の解決に必要な情報を自ら「選択」する。複数の指標を「比較」・「グラフ化」して分析し、客観的な根拠に基づいた解決策を考案する。

南高で育成する資質・能力

